

金山の未来を考える

—さまざまな垣根をこえて—

Part2:未来を創る

11月3日(文化の日)

13:30~16:30

金山コミュニティーセンター

里山の幸
美味しい食材

密じゃない

住民同士の
繋がりがあがる

働き者
人材が豊富
何でもできる

小学校が
地域の核

四季を楽しめる

県の真ん中で
どこへでも
行きやすい

今のままでOK!

ミシュランの
料理人が使う
野菜作り

リモートでの
農業・仕事
学習・移動

義務教育学校
教育先端地区

子どもの賑わい
若者が活動
住民がハッピー

道の駅
マルシェ
農家レストラン
民宿



Part1:未来を描く 2021.09.23

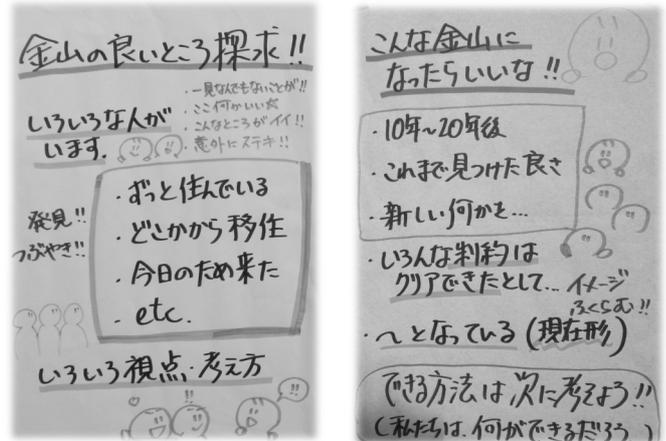
金山の未来を考える

—さまざまな垣根をこえて—

令和3年度富山県公民館連合会公民館活動研究委嘱事業

Part1:未来を描く 概要

20名の参加者は5つのグループに分かれ、講師による進行のもと、各人が想いを語り合いました。「金山の良いところ探求！」では、自然・人・食・立地など、普段は見落としがちな魅力の再発見につながりました。気になることとして、小学校の存続、少子化、高齢化、移動手段の確保などの課題が出ました。最後に「金山の未来の姿」として、農業の自動化、金山義務教育学校の設置、無人タクシーでの移動、道の駅の開業など、ワクワクする姿を描きました。「金山里山の会」からのサプライズプレゼントもあり、多くの参加者から楽しかったという声をいただくことができました。



講師の岸靖久さんより

第1回「未来を描く」にご参加のみなさま、ありがとうございました。参加されたみなさんのお話から、金山を思うあたたかい気持ちがあちこちで感じられた会でした。こんな金山にあるステキで大切な何かを、みなさんのお子さんたち、お孫さんたち、これからの金山に住む人たちへ、残して繋げて伝えていきたい。次回第2回「未来を創る」では、第1回から出たいろいろなお話を踏まえて、みなさんで一緒に考えて、地図や物語を創るような話し合いができればいいなと思ってます。ぜひ気軽にお集まりください。

事業の趣旨および開催の経緯

当事業の趣旨は、「住民の要望や地域の特性を生かした『学びあい ふれあい 結びあい』の場、機会をつくりあげるとともに、今日的な社会の要請に応え、人々の自らの地域に対する誇りと愛着を高め、主体的な参加を促進することのできる公民館事業の在り方について実践研究を委嘱し、その成果を広く普及啓発して公民館活動の充実活発化に資する」となっています。

射水市では2011年に公民館がコミュニティセンターに移行し、公民館の機能である「生涯学習に関する事業」に加え、地域づくり活動に関する事業や地域住民の交流に関する事業を行うことになりました。それを踏まえて6月に研究委員会を発足し、Part1の開催に向けて準備を進めてきました。Part1を開催したのは9月23日は新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきてはいましたがStage3の措置中であり、射水市の指針に従っての開催になりました。Part2開催時にはさらに状況が落ち着いていることを願いつつ、多くの住民の皆さまのご参加を研究委員一同、心よりお待ちしております。

ワークショップの
掲示板はこちら



コミュニティセンターの
ホームページからもご覧
いただけます。

「金山コミセン」で検索！

申込方法 ※ お送りいただいた個人情報、本事業目的以外には使用しません。

締切：10月27日(水)

金山コミュニティセンターに、電話・FAX または
メールで申し込みください。

▶ TEL・FAX 0766-56-2649

▶ メール kanayama@imizu-chiiki.jp

ふりがな

(18歳未満の方は保護者氏名もご記入ください)

氏名

保護者氏名

電話番号又はe-mailアドレス

該当する項目を○で囲んでください。

年齢 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上 性別 男 女

地区 青井谷 浄土寺 上野 宿屋 平野 野手 その他 ()